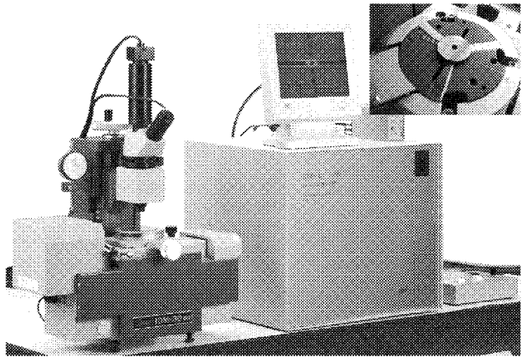
小径内径測定器

IDM-30／100
IDM-30EX／100EX

NEW

最小0.1mmの内径もトレーサビリティーが保証できます。



特徴

- ■光学式測定　光でナノを測る内径測定の標準器0.01μm単位で非接触高精度測定
- ■優れた温度補正　多点測温素子で寸法と温度を同じに設定 自動で標準温度(20℃)の寸法に換算
- ■高い測定精度　総合±(0.4+L/150)μm,繰り返し0.2μm
- ■簡単操作　モニタ上の像をラフに合わせてボタンを押すだけ

製品案内

●各種ねじゲージ　●BACリードスクリュー　●小径内径測定器
●一般ゲージ　●空気マイクロメーター　●各種自動測定器
●粒度ゲージ　●電気マイクロメーター　●各種検査治具
●精密ボールねじ　●スピンドルユニット

ISSOKU　株式会社 第一測範製作所
〒947-0044 新潟県小千谷市大坪野826番地2
TEL.0258-84-3911 FAX.0258-81-2113
詳しくはこちらから▶ http://www.issoku.jp

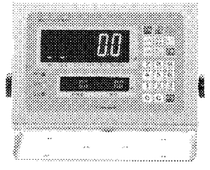
信頼に支えられ、信頼に応える「タナカのはかり」 TANAKA

新型フロアースケール TTL型(TT-Light)

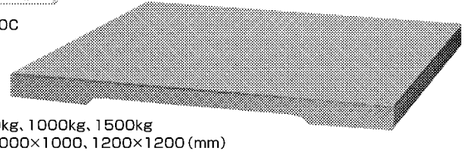
性能はそのまま、軽さと操作性を追求しました!

タナカのエコ発想

■軽いがいちばん!
新設計による軽量化を実現!
■移動もいちばん!
リフト用コーナー加工標準装備!
■価格もいちばん!
もちろん価格も追求!



【指示計】HD-1000C

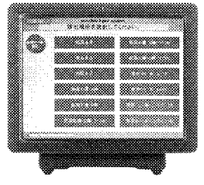


【本体】ひょう量:600kg、1000kg、1500kg
積面サイズ:1000×1000、1200×1200(mm)

廃棄物計量管理システム

ecoCUBE エコキューブ

■廃棄物管理(ゴミ削減対策)は「どこから」「何のゴミが」「どの位の量」かを把握し、ゴミの発生履歴を分析・検討することです。
■エコキューブはタッチパネル採用の装置で簡単にデータ入力と計量を管理システムで集計・分析を行います。
■食品リサイクル法の定期報告書の作成に便利です。



株式会社 田中衡機工業所
本社
〒959-1145 新潟県三条市福島新田丙2318-1
TEL(0256)45-1251 FAX(0256)45-2204
■東京支店 ■関西支店 ■東北営業所
■福岡営業所 ■南九州出張所
URL http://www.tanaka-scale.co.jp/ e-mail info@tanaka-scale.co.jp

ユニークな〝はかる〟アイデアを募集する「何でもはかってみようコンテスト」の優秀作品を表彰する

何でもはかってみようコンテスト

全国から78点の応募

同事業のうち小学生対象に行われているのが「何でもはかってみようコンテスト」。学校や家庭生活などの身近なものについて「はかる(計る、量る、測る)」対象と方法を工夫したユニークなアイデアを募集している。多様な方法や考え方によって〝はかる〟ことを実践し、その楽しさや大切さを体験し理解してもらうことを目的とし、7回目の実施となった今回は全国から78点の応募が集まった。

最優秀作品には茨城県つくば市の小学1年生による「あさがおのいろのへんか。ぴいえっちをはかってみたよ」が選ばれた。優秀作品は神奈川県藤沢市の小学2年生による「日本語をはかる」など2点、特別賞1点、奨励賞20点が選ばれた。これらの優秀作品は同大会で表彰される。

11月1日は「計量記念日」

放射能について知っておきたい基礎知識

日本計量振興協会の広報誌「計量のひろば」

日本計量振興協会では計量の大切さを理解してもらうための広報誌「計量のひろば」を発行。行政関係や関係団体、消費者センターなどを通じて配布している。最新号では関心の高い「放射能について知っておきたい基礎知識」と「日常生活で受ける放射能について」をトピックスとして取り上げている。

まず間違えやすいのが放射能と放射線の違い。放射線は不安定でエネルギーレベルの高い原子核が別の安定な原子核に変わろうとする時に放出するもの。放射能は放射線を出す能力や放射性物質を指す。懐中電灯で例えれば、放射性物質が豆電球、光が放射線、豆電球が光を出す能力が放射能ということになる。

国際単位系(SI)での放射能の単位はベクレル(Bq)。1ベクは1秒間に一つの原子核が崩壊する際に放射線を放出できる能力を指す。また人体が放射線を受けた際にその影響の度合いを表すのがシーベルト(Sv)。1シーベルト=1000ミリシーベルト=100万マイクロシーベルトであり、単位を取り違えないようにしたい。

放射線の計測器は測定する放射線の種類によってさまざまある。計測場所に人がいた時に受ける放射線の線量を測定する計測器の中でも携帯型で利用されるのが「サーベイメーター」。使用する際には計測器の汚染を避けるため検出部を薄いビニール袋で被うなどの注意点を確認することが必要だ。

現在、さまざまな放射線計測器が市場に出回っているが、正確な計測器の使用は計測の信頼性を支えるうえで欠かすことができない。またそれを正しく取り扱える測定者の技能や正しい使い方を定めた規格の順守も重要となる。そして測定結果に高い信頼性を持たせるには正しい測定法に基づいた計測器の校正が必須となる。

わが国の計量法では校正事業者登録制度(JCSS)によって計量トレーサビリティーが保証される。これは登録された校正事業者により校正された放射線計測器を用いた測定結果が国家計量標準に関連づけられることにより計量トレーサビリティーが確保される仕組み。現在、JCSSの登録区分「放射線・放射能・中性子」での校正事業者は8事業者あり、詳細については製品評価技術基盤機構のホームページで確認できる。